

公益財団法人 三重県国際交流財団 平成 24 年度事業報告

I 概 要

平成 24 年 4 月 1 日、当財団は公益財団法人として新たなスタートを切り、「新しい中期計画」（計画期間：平成 24 年度から概ね 5 年間）に基づき、「地域から信頼され、期待される財団」「多様な人々と共に創る多文化を尊重できる社会」を目標に、1「多文化共生社会の推進」に重点を置いて「国際交流の促進」「国際協力の拡充」の 3 つの事業柱のもとで事業を展開する。2 多様な人々との連携・協働を基本とし、公益性の確保と効果的・効率的な事業実施を図る。3 自主性・自立性を高めるため自主財源の確保や組織体制の充実など、経営基盤の強化に取り組んできました。

今年度は、新計画の初年度として、今後事業の核となる多文化共生の地域づくり支援事業に取り組むと共に、多様な人材の育成と活動の推進、外国人相談体制の充実、多文化共生教育の推進など、多文化共生社会の推進に関する事業を重点的に実施しました。

なかでも、「NPO 等からの協働事業提案」として県に提案をした「県域における大規模地震等災害時の外国人住民支援システム構築事業」において、県関係各課や関係団体等との協議を重ね、県域における災害時の外国人住民支援の拠点となる『みえ災害時多言語支援センター』の設置・運営に関し、多様な主体の協力を得ながら県と財団が協働で同センターの設置・運営を行うことで合意が得られ、平成 25 年度、県と協定を締結する運びとなりました。

また、県が実施した「災害時 NPO 活動支援事業【緊急支援活動】」（同センターの活動及び運営費補助）にも申請し、「災害時の外国人住民支援にかかる協定」を締結することとなりました。

このように、県域における災害時の外国人住民支援についてのあり方が明確になってきたことに伴い、広域的、補完的役割を果たすために外国人住民の多い市町に対し積極的に事業提案を行い、市町からの委託事業の増加にも努めました。

II 実 績

<公益目的事業>

1 多文化共生社会の推進に関する事業

(1) 多様な人材の育成と活動の推進

①日本語支援ボランティア育成事業【県受託事業】※コンペ

地域で活動する日本語ボランティアの養成からブラッシュアップ、更には、日本語教室を円滑に運営するためのコーディネーターの育成まで、体系的な研修を実施しました。

また、育成したボランティアを財団のパートナー制度(日本語パートナー)を通して、活動の場への結び付けも行いました。

【目 標】 研修参加者数 50 人 (研修回数 2 回)

【実 績】 研修参加者数 69 人 (研修回数 3 回)

ア 入門研修

地域で活動する日本語ボランティアの養成を目指し、日本語ボランティアが不足している市町を対象に入門研修を実施しました。〔共催：紀北町、尾鷲市〕

日 時：平成 24 年 7 月 1 日(日) 10:00～16:00

会 場：紀北町海山公民館

講 師：国際交流センター日本語教師養成講座講師 船見和秀さん 以下同じ

参加者：22 人

イ ブラッシュアップ&コーディネーター研修

既に日本語を教えているボランティアを対象として、外国人住民の多様なニーズに対応した指導ができるよう、能力向上のための研修を実施しました。

〔共催：伊賀市〕

日 時：平成 24 年 9 月 16 日(日)、10 月 7 日(日)、14 日(日)、28 日(日)

4 回とも 10:00～16:00

会 場：伊賀市ゆめぼりすセンター

参加者：35 人

ウ 日本語教室立ち上げ支援

紀北町において、日本語立ち上げを目的とした支援を行いました。

日 時：平成 24 年 7 月 24 日(月)、10 月 14 日(日)、11 月 7 日(水)

エ 日本語ボランティアフォローアップ研修

平成 24 年 11 月に日本語教室が立ち上がったばかりの紀北町地域において、実際にボランティア活動を希望する人を対象に、日本語指導に係る知識とスキルを習得することを目的に研修を実施しました。〔共催：紀北町、尾鷲市〕

日 時：平成 25 年 1 月 19 日(土) 13:30～17:30

会 場：東長島公民館

参加者：12 人

②医療通訳ボランティア事業【県受託事業】

医療通訳ボランティアのスキルアップ研修を実施して人材育成を行うとともに、医療・保健機関等の関係者の理解を深めるため、医療通訳ボランティアの養成研修会や外国人の医療問題を考えるセミナー等を開催しました。

【目 標】 医療通訳ボランティア登録者数 100 人

【実 績】 医療通訳ボランティア登録者数 99 人

内訳 ポルトガル語 67 人、スペイン語 32 人

ア 医療通訳養成研修会の開催

医療ボランティアとして、より高度で実践的な専門知識及び心構えを備えた人材の育成を図るため、医療通訳経験者を対象とした研修会を開催しました。

(ア)ポルトガル語スキルアップ編

日 時：平成 24 年 6 月 9 日、7 月 21 日、8 月 25 日、9 月 29 日(いずれも土曜日)

第 1 回、第 4 回 10:00～16:15 第 2 回、第 3 回 13:00～16:15

会 場：三重県教育文化会館

参加者数：第1回23人、第2回16人、第3回16人、第4回14人参加者合計：延69人
研修内容及び講師：

「通訳技術トレーニング」「医療通訳の姿勢・心得」「模擬通訳」「通訳者のためのメンタルケアマネージメント」「保健センターでの通訳」「生活習慣病の用語演習・用語集作り」「用語集を使用したグループでの模擬試験通訳」

在名古屋ブラジル総領事館ブラジル人民委員会 Disque-Saude 電話相談プログラム

医師 中萩 エルザさん

(イ) スペイン語スキルアップ編

日時：平成24年6月9日、7月21日、8月25日、9月29日(いずれも土曜日)

第1回、第4回 10:00～16:15 第2回、第3回 13:00～16:15

会場：三重県教育文化会館

参加者数：第1回13人、第2回9人、第3回7人、第4回8人 参加者合計：延37人

研修内容及び講師：(内容は、上記(ア)ポルトガル語スキルアップ編に同じ)

日本赤十字九州国際看護大学准教授 エレーラ ルルデスさん

(ウ) 実施研修

日時：平成24年10月18日(木)、10月19日(金)、11月15日(木)

第1回、第3回 9:30～11:30 と 13:00～15:30 第2回 9:30～11:30

場所：三重大学医学部附属病院、津中央保健センター

参加者数：ポルトガル語 第1回3人、第2回4人、第3回4人 合計：延11人

スペイン語 第1回4人、第2回2人、第3回2人 合計：延8人

研修内容及び講師：

「小児科再診時通訳見学」「小児科用語説明」「皮膚科再診時通訳見学」「皮膚科用語説明」「産婦人科再診時通訳見学」「産婦人科用語説明」「1歳6カ月検診時通訳練習」

在名古屋ブラジル総領事館ブラジル人民委員会 Disque-Saude 電話相談プログラム

医師 中萩 エルザさん

イ 外国人住民への医療について考えるセミナーの開催

外国語通訳者を雇用している医療機関や保健センターの関係者に通訳雇用の経緯を、また医療現場で働く外国語通訳者に業務内容などを聞き、医療現場における通訳の必要性について理解を深めるとともに、今後の外国人医療関係者のネットワークづくりを図りました。

日時：平成24年12月15日(土)13:30～16:50

会場：アスト津4階会議室1

主催：三重県、三重県医療ソーシャルワーカー協会

参加者数：28人

内容及び講師：

「医療通訳事例発表」

発表者 三重大学医学附属病院 医療福祉支援センター部長 内田恵一さん

同ポルトガル語通訳 ワキモト隆子さん

亀山市健康福祉部 地域福祉室長 水谷和久さん
同外国語通訳 尾田アイルトン哲司さん
JA 愛知厚生連豊田厚生病院 看護部長 細井陽子さん

「グループワーク」

ウ 医療通訳派遣制度の普及

医療機関に対する制度のお知らせや、患者からの要請に対して診察日程の調整を行う等の取り組みにより、制度の普及を図りました。

派遣実績：医療通訳派遣件数 25 件 制度利用 8 機関

エ 外国語対応可能な医療機関の情報提供

医療ネットみえと連携して、外国語対応可能な医療機関に関する情報をホームページで提供しました。 合計 実数 506

(内訳 (延数))

医療機関数：英語 486、ポルトガル語 17、スペイン語 12、中国語 10 ほか

③災害時外国人住民支援事業【県受託事業】

災害時における外国人住民への情報提供等を支援するため、災害時外国人サポーター養成研修と併せて、同サポーターと協働しながら外国人住民に対し防災訓練を実施するとともに、三重県・鈴鹿市が実施する総合防災訓練においても避難所訓練を実施しました。

また、避難所情報伝達キットー絵表示・多言語ー『つ・た・わ・るキット』（以下「キット」という）の普及を図るため、説明会及び利用体験を実施しました。さらに、当該「キット」を貸し出すとともにキットのツールであるピクトグラム改良も行いました。

【目 標】 研修参加者数 100 人

【実 績】 研修参加者数 147 人

ア 外国人住民を対象とした防災訓練

防災情報が十分届いていない外国人住民に対し、災害への備えについて母語で伝えることにより、減災に向けた取組みを進めました。

第 1 回 〔共催：伊勢市、伊勢市国際交流協会〕

日 時：平成 24 年 8 月 18 日（土） 11:45～15:30

会 場：いせ市民活動センター

参加者数： 40 人

研修内容及び講師：

防災講話「災害に備えて」 伊勢市総務部危機管理課防災係 奥田 教行さん

防災ワークショップ 多文化演劇ユニット MICHI さん

避難所巡回訓練 多文化共生マネージャー全国協議会 高木和彦さん

第 2 回 三重県・鈴鹿市総合防災訓練における避難所訓練

日 時：平成 24 年 9 月 2 日（日） 10:00～12:00

場 所：三重県消防学校

参加者数： 34 人

研修内容：

防災ビデオの上映

避難所運営に関わる実践

避難者名簿への記入、外国人対応窓口での相談業務、仮設トイレの組み立て

ピクトグラムクイズ、ピクトグラムアンケートの実施

イ 災害サポーター研修会

災害時に外国人住民への情報提供を主な目的として設置される「災害時多言語支援センター」の開設ならびに外国語の情報提供方法などについて学ぶとともに地域のサポート力向上を図りました。

第1回〔共催：伊勢市、伊勢市国際交流協会〕

日 時：平成24年8月18日（土） 10:00～16:00

会 場：いせ市民活動センター

参加者数：24人

研修内容及び講師：

講義「災害時に外国人が直面する課題とボランティアに求められる役割」

災害時多言語支援センターの設置・運営実地体験

多文化共生マネージャー全国協議会理事 高橋 伸行さん

第2回

日 時：平成25年2月3日（日） 10:00～15:00

会 場：アスト津3階県民交流スペース

参加者数：49人

研修内容及び講師：

講話『多言語支援センターの開設について』

多文化共生マネージャー全国協議会理事 高橋 伸行さん

講話『三重県の被害想定について』

三重県防災対策部 防災技術指導員 西川 実雄さん

各市多言語支援センターの設置・運営シミュレーション

多文化共生マネージャー全国協議会理事 高橋 伸行さん

ウ 避難所情報伝達キット ―絵表示・多言語―『つ・た・わ・るキット』の普及

(ア) 説明会

日 時：平成24年11月20日（火） 13:30～16:00

会 場：アスト津4階会議室

参加者数：28人

内容及び講師：

基調講演『災害時の多言語支援センターとは』

新潟県長岡市国際交流センター長 羽賀 友信さん

キット説明会、キット利用体験

(イ) 貸出用キットの作成と貸出実績

貸出キット作成 フルセット 2セット

市販の消耗品を除いたセット 4セット

貸出実績

11件

エ 県内外の関係団体との連携強化

平成24年9月27日（木）に名古屋市で開催された東海北陸（7県・3市）地域国際化協会連絡協議会総会及び外国人支援ネットワーク東海北陸ブロック研究会・業務研究会に参加しました。

また、平成25年1月18日（金）に名古屋市で東海北陸地域国際化協会連絡協議会災害予防対策支援研究会が開催され、「災害時における外国人支援ネットワークに関する協定」の内容の確認をするとともに、併せてグループに分かれて災害時におけるメールを使っての被災状況の報告や支援要請などのシミュレーション研修に参加しました。

さらに、NPO 法人みえ防災市民会議の研修会において、災害時の外国人住民支援の状況を紹介し、災害ボランティアコーディネーター、聴覚障害者団体、バリアフリー団体と情報共有を図るとともに、三重県社会福祉協議会が実施する災害に備えたネットワーク強化事業に委員として参画し、災害ボランティアセンターとの連携について検証を行いました。

④財団パートナー制度運営事業

通訳・翻訳、日本語学習支援、医療通訳（フィリピン語）、災害時の外国人住民支援の4分野において、当財団と同じ目的意識を持つ多様な人材を「パートナー」として広く募集し、各分野の活動の推進を図るしくみを運営しました。

【目 標】 パートナー登録者数

通訳・翻訳(100人)、日本語(70人)、医療(10人)、災害(40人)

【実 績】通訳・翻訳(220人)、日本語(91人)、医療(12人)、災害(41人)

ア 通訳・翻訳パートナー

(ア) 利用件数

通訳件数:103件(前82件) パートナー活動者延数 154人(前145人)

翻訳件数:76件(前61件) パートナー活動者延数 273人(前255人)

(イ) 通訳・翻訳パートナー交流会

日 時:平成24年6月16日(土)13:00~15:45

参加者数:36人

イ 日本語パートナー

登録者数:91人

日本語パートナーと日本語習得を希望する外国人住民をコーディネートし、日本語パートナーの活動を促進

コーディネート件数:11件(14人)

ウ 医療パートナー(フィリピン語)

登録者数:12人

医療パートナー養成講座

日 時:平成24年7月21日(土)、8月25日(土)

会 場:第1回:三重県教育文化会館3階第5会議室、第2回:同5階中会議室

講座内容及び講師:

医療通訳に求められる資質と役割 ~技術・知識・心得~

在名古屋ブラジル総領事館ブラジル人民委員会 Disque-Saude 医師 中萩 エルザさん

ソーシャルワーカーの役割 多文化共生センターひょうご代表 北村広美さん

ケースワーク~こんなときはどうしますか~ 同 上

基本専門用語の練習 MIC かながわ医療通訳スタッフ 姫野マリーさん

模擬通訳パート1, 2 同 上

参加者:第1回 13人、第2回 7人 参加者合計:延20人

エ 災害パートナー

登録者数:41人(英語12人、中国語18人、ポルトガル語6人、タイ語2人、インド

ネシア語 2 人、フィリピン語 2 人、パンパンガ 1 人、イロカノ語 1 人、韓国・朝鮮語 4 人、ドイツ語 2 人、スペイン語 1 人、ベトナム語 1 人、延 52 人)

(2) 多文化共生の地域づくり支援

① 県域における大規模地震等発生時の外国人住民支援システム構築事業

【県受託事業】※コンペ

県内における大規模地震等発生時に外国人住民を支援する新たなしくみとして、多様な主体との連携のもとで、県と協働して「みえ災害時多言語支援センター」の整備について協議を行いました。

なお、「みえ災害時多言語支援センターの設置・運営に関する協定」の締結については、平成 25 年度の予定です。

【目 標】 同システムの構築

【実 績】 同システムの構築

ア 県との協働によるつたわるネット推進会議

日時:第 1 回平成 24 年 5 月 10 日、第 2 回 6 月 27 日、第 3 回 8 月 7 日、第 4 回 8 月 29 日、第 5 回平成 25 年 3 月 19 日

会場:第 1 回～第 4 回アスト津 3 階控室、第 5 回アスト津 3 階交流スペース

参加者: 県防災企画・地域支援課、多文化共生課、男女参画・NPO 課、財団

内容:「災害時における外国人住民支援の現状と今後の対応」「災害時多言語支援センターの設置・運営に関する協定について」「同実施要領(案)について」

イ 多様な主体との協働によるつたわるネット推進会議

日時:第 1 回平成 24 年 11 月 28 日、第 2 回平成 25 年 1 月 31 日

会場:アスト津 4 階会議室、アスト津 3 階ミーティングルーム

参加者: 第 1 回 21 人、第 2 回 19 人

内容:「災害時により多くの外国人住民に情報がつたわるようにするにはどうしたらよいか」「情報発信の在り方と具体的な取り組みについて」

ウ 先進地視察

第 1 回

日時:平成 24 年 5 月 16 日(水)

視察先:横浜市国際交流協会、かながわ国際交流財団

第 2 回

日時:平成 24 年 7 月 5 日(土)～6 日(日)

視察先:岩手県・宮城県・福島県の地域国際協会による仙台でのシンポジウム参加及び東日本大震災被災地

第 3 回

日時:平成 24 年 7 月 25 日(水)

視察先:茨城県国際交流協会

エ みえ災害時多言語支援センターの運営等実施要領(案)の作成

②災害時 NPO 活動支援事業〔緊急支援活動〕※コンペ

三重県が実施した、災害からの早期復旧・復興を目的とした「三重県災害ボランティア支援及び特定非営利活動促進基金」に基づく緊急支援活動協定団体の募集に対し、「災害時の外国人住民支援活動」を申請し、平成 25 年 3 月 14 日に採択されました（活動助成金 120 万円）。協定の締結は、平成 25 年度の予定です。

③地域防災力向上事業【四日市市受託事業】

四日市市及び笹川自治会等と連携して、外国人及び外国人を助ける住民に対し研修を行うことにより、災害発生時において、四日市市内在住の外国人自らも行動ができるように防災啓発事業を行いました。

【目 標】 セミナー等参加者数 50 人

【実 績】 セミナー等参加者数 57 人

ア 防災に関する講話と避難所訓練

日時：平成 24 年 10 月 14 日（日）10:00～16:00

会場：四日市市立笹川東小学校体育館

参加者：57 人

内容：

「地震発生前、発生後に行うべきこと」 四日市市危機管理室 南川拓哉さん

「笹川地区の避難所運営ルールについて」 笹川連合自治会長 朝妻泰孝さん

「防災確認クイズ」 (公財) 三重県国際交流財団

「避難所運営訓練」 四日市市女性消防団サルビア分団四日市市危機管理室
(公財) 三重県国際交流財団

(3) 外国人相談体制の充実

①外国人住民総合ヘルプデスク事業【県受託事業】※コンペ

多言語で外国人住民の相談に対応するとともに、外国人住民が抱える生活上の諸課題について、出前講座、通訳付きの専門家相談会、外国人相談窓口担当者の研修会等を開催し、課題解決に向けた支援を行いました。また、併せて大規模災害時の相談体制の構築に努めました。

【目 標】 相談件数 800 件、出前講座回数（延べ参加者数）8 回（180 人）、
個別（専門）相談会回数（延べ利用者数）7 回（110 人）、
窓口担当者研修会回数（延べ参加者数）3 回（60 人）

【実 績】 総相談件数 969 件（電話等 754 件、個別相談 215 件）
出前講座回数（延べ参加者数）8 回（273 人）、
個別（専門）相談会回数（延べ利用者数）7 回（89 人）、
窓口担当者研修会回数（延べ参加者数）3 回（65 人）

ア 多言語による相談の実施（ポルトガル語、スペイン語、英語、フィリピン語、中国語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語）

国籍別相談件数

国名	件数	割合(%)
ブラジル	476	63.1
フィリピン	109	14.5
ペルー	85	11.3
ボリビア	24	3.2
日本	18	2.4
中国	14	1.9
タイ	7	0.7
アメリカ	5	0.5
インドネシア	4	1.6
その他	12	
合計	754	100%

内容別相談件数

相談内容	件数	割合(%)
就労	155	20.6
医療・福祉	140	18.6
暮らし・住まい	101	13.4
教育・文化	97	12.9
出入国・在留関係	75	9.9
結婚・離婚・国籍	45	6.0
財団・団体・ボランティア	40	5.3
犯罪・法律	33	4.4
自動車	23	3.1
領事館・外務省	22	2.9
税金	16	2.1
その他	7	0.9
合計	754	100%

イ 出前講座

第1回

日時:平成24年5月13日(日) 13:30~15:30

会場:鈴鹿市役所

参加者:99人

テーマ:新たな在留管理制度及び外国人住民の住民基本台帳制度

講師:三重県行政書士会 行政書士 浪木 榮さん、鈴鹿市市民課 坂いさこさん
(公財)三重県国際交流財団

第2回

日時:平成24年6月24日(日) 13:00~17:30

会場:伊賀市ゆめぼりすセンター

参加者:20人

テーマ:ストレス溜まった?!その辛いストレスにBye-Byeしよう!

講師:三重県立こころの医療センター 臨床心理士 榊原規之さん

第3回

日時:平成24年9月2日(日) 13:30~16:30

会場:四日市市四郷地区市民センター

参加者:46人

テーマ:良い教育、良い未来につながる!今から教育費を考えないと子どもの将来はどうなる?!

講師:「子供に関する公的サービス」 四日市市健康づくり課 市川理恵子さん

「保育園から大学までの教育費」 ファイナンシャルプランナー福島佳奈美さん

第4回

日 時:平成24年10月28日(日) 15:30~17:30

会 場:桑名市修徳公民館

参加者:19名

テーマ:健康な生活を送るため生活習慣病を予防する方法を学ぼう!

講 師:「外国人住民に多く見られる病気を知り、予防する方法の説明、高血圧、糖尿病や肥満についての説明」 三重県立看護大学 山路由美子さん
「健康チェック」 三重県立看護大学 橋本秀実さん

第5回

日 時:平成24年11月11日(日) 13:30~16:00

会 場:ワークセンター松阪 労働会館

参加者:19人

テーマ:もっと充実した生活を送るための日本語

～職場で、日常生活に必要な日本語～

講師:「日本語のレベルチェック、日本語の大切について」日本語教師 浦山美和子さん
「履歴書のかき方、面接の心構え」 松阪ハローワーク 高木俊宏さん

第6回

日 時:平成24年12月23日(日) 12:30~15:30

会 場:おわせサンプラザ カトレア

参加者:24人

テーマ:新しい在留管理制度と国際結婚の間に起きるトラブル

講師:「新しい在留管理制度について」三重県行政書士会 行政書士 米田智彦さん
「国際結婚に関する様々な問題について」 FMC 代表 石倉バージさん
「紀北町日本語教室について」 紀北町 浜田まみさん

第7回

日 時:平成25年2月28日(木) 19:00~21:30

会 場:津市立高茶屋小学校

参加者:21人

テーマ:子どもの進学や将来の進路について考えましょう

講師:日本語教師 浦山美和子さん、ファイナンシャルプランナー 福島佳奈美さん

第8回

日 時:平成25年3月22日(金) 11:30~12:30

会 場:アスト津3階交流スペース

参加者:25人

テーマ:もし今地震が起きたら、あなたならどうしますか?!

講 師:(公財)三重県国際交流財団多文化共生アドバイザー 参加者合計 273人

ウ 専門家による個別相談会

日本語が十分でない外国人住民を対象に、専門家のアドバイスが必要とされる生活相談について、8言語(ポルトガル語、スペイン語、英語、フィリピン語、中国語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語)による相談会を実施しました。

(ア) 法律関係 5回

開催日：第1回 平成24年7月22日(日)、第2回 11月25日(日)
第3回 12月16日(日)、第4回 12月23日(日)、
第5回 平成25年2月10日(日)

会場：第1回と第5回はアスト津、第2回は四日市市総合会館
第3回は鈴鹿市役所、第4回はおわせサンプラザ

相談時間：1件50分、事前聞き取り15分

相談関係機関：法律関係 三重弁護士会、三重県行政書士会、
社会保険関係 三重県社会保険労務士会

参加者：55人

(イ) こころの相談 2回

開催日：第1回 平成24年6月24日(日)、第2回 11月25日(日)

会場：第1回伊賀市ゆめぼりセンター、第2回は四日市市総合会館、

相談時間：1件75分、事前聞き取り15分

相談関係機関：三重県臨床心理士会

参加者：12人

参加者合計 67人

エ 外国人相談窓口担当者研修会

外国人相談窓口担当者の知識を深め、また担当者間で顔の見える関係を構築し、より信頼できる相談体制を築くことを目的として研修会を実施しました。

第1回

日時：平成24年7月10日(火)10:00～15:30

会場：アスト津4階会議室

参加者数：20人

テーマ：「こころの二次受傷」

講師：三重県立こころの医療センター 臨床心理士 榊原規之さん
浜松国際交流協会 臨床心理士 吉留富子さん

第2回

日時：平成24年9月27日(木)10:00～16:30

会場：アスト津3階

参加者数：20人

テーマ：「児童虐待及びDVと在留資格の関係」

講師：三重県中勢児童相談所 鈴木聡さん、名張市女性相談室 斎藤美穂さん
三重県行政書士会 行政書士 稲垣正文さん

第3回

日時：平成24年12月20日(木)13:00～16:30

会場：アスト津3階

参加者数：25人

テーマ：「外国人住民に係る労働問題」

講師：三重労働局職業対策課 浦幸生さん

三重県社会保険労務士会 社会保険労務士 金津貴司さん 参加者合計 65人

②労働相談室電話相談通訳事業【県受託事業】

県が実施する労働相談業務を受託し、電話による三者通訳を実施しました。

ポルトガル語 24件 356分 スペイン語 16件 246分

(4) 多文化共生教育の推進

多文化共生教育を推進するため、日本語指導等に関する資料収集や提供、教材発行、外国人児童生徒教育コーディネーターの派遣、実践研究会の開催等により、学校における外国につながりを持つ児童生徒教育への支援を行ないました。

①多文化共生教育センター事業

ア 外国人児童生徒教育コーディネーター派遣事業【県教委受託事業】

日本語指導が必要な外国につながりを持つ子どもの教育について、受入れ体制や、初期適応指導、教科学習につながる日本語指導等について助言・指導等を必要とする小中学校等へ専門的な知識や技能をもつ外国人児童生徒教育コーディネーターを派遣しました。また、その派遣等の実績を踏まえ、外国人児童生徒教育コーディネーターの視点からの「外国人児童生徒教育推進のためのガイドライン」を作成しました。

【目標】派遣件数 52件

【実績】派遣件数 58件

イ 多文化共生教育センター（みーく）の運営

県内外の多文化共生教育・日本語指導を行う学校等の取り組みについて情報発信することを目的として、日本語指導教材、外国人児童・生徒の学習に活用できる日本語学習・教科学習教材、県内外の教育委員会や学校、団体等が作成した資料、多文化共生教育に関する書籍などの収集及び開架を行うとともに書籍の貸出しを行いました。

なお、書籍・資料等のデータベースをホームページに掲載し、広く県民に知らせると共に、問合せにも適切に対応しました。

【目標】みーく利用件数 300件

【実績】みーく利用件数 104件

ウ 高校進学ガイダンスガイドブック多言語版の作成

高校進学ガイダンスガイドブック（多言語版）を県教育委員会と共同で編集し、各地域で開催された高校進学ガイダンスを支援しました。また、財団ホームページにも掲載し、県域で情報提供を行いました。

支援地域4地域（四日市、津、松阪、伊賀）

エ 「みーくニュース」の発行（年3回）

「みーくニュース」を「MIEF NEWS」にあわせて年3回（1000部/回）発行し、日本語指導教材の活動事例紹介、外国人児童生徒教育コーディネーター派遣事業の紹介、「動詞の絵カード」や聴解教材CDの活用、実践研究会等の報告などの情報発信を行いました。

②日本語教材、日本語指導教材の研究・開発・発行

外国につながりを持つ子どもたち及び初期日本語学習を担当する教職員等のために、日

本語の発音を身につけるための教材として、『新版 みえこさんのにほんご』及び『同続 みえこさんの日本語』に沿った内容の聴解教材を作製しました。

また、各学校等からの要請に応じて教材送付を行いました。(125件、1,530冊)

【目 標】『新版 みえこさんのにほんご』『新版 続みえこさんの日本語』に沿った聴解教材の開発・発行

【実 績】同上

③外国につながりを持つ子どもたちの教育実践研究会、管理職研修会

外国につながりを持つ子どもたちの教育指導上の課題を解決するため、実践研究会を開催しました。また、多文化共生教育について理解を深めるため、三重県教育委員会と共催で管理職セミナーを開催しました。

【目 標】 実践研究会：全4回開催、1回あたりの参加者数 35人

【実 績】 実践研究会参加者数 158人 (1回あたりの参加者数 39.5人)

ア 実践研究会

日 時：平成24年6月25日(日)、8月9日(木)、8月17日(金)、8月28日(火)
第1回 13:30～16:30 第2回～第4回 10:00～16:30

会 場：津市アスト津

参加者数：第1回：51人、第2回：39人、第3回：33人、第4回：35人 計158人

内容及び講師：

「初期日本語指導の進め方『動詞の絵カード100』『れんしゅうちょう1』
『みえこさんのにほんご』『続みえこさんの日本語』を使って」

みえこシリーズ執筆者、三重大学国際交流センター 石川博子さん
日本語ボランティア 角谷理津子さん

「新たな在留管理制度について知る」 行政書士 先本賢一さん

「みんなでとりくむわかりやすい授業づくり～研究者、教育委員会、実践者
との協働講座～」

大阪教育大学准教授 臼井智美さん

松阪市立徳和小学校教諭 岡本美矢子さん

津市立神戸小学校教諭 大西正人さん

「子どもたちのたしかな未来のために一よくわかる算数科の授業の進め方」

群馬県邑楽郡大泉町立北小学校教諭 市川昭彦さん

「子どもたちのたしかな未来のために一授業を理解するために日本語の底力
をつける」 公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)理事 関口明子さん

イ 管理職セミナーの共催〔主催：三重県教育委員会〕

日 時：平成24年8月3日(金) 9:45～16:00

会 場：松阪市 松阪市民文化会館ホール

参加者数：小中学校長及び教頭 約600人

内容及び講師：

「多文化社会を生き抜くスキルを身に着ける ～校長としてのかかわり方～」

群馬県大泉町立西小学 山田恵美子校長

(5) 相互理解促進

①多文化共生啓発事業

ア 三重県多文化共生啓発事業実行委員会の一員として「多文化共生啓発イベント」に参画し、ブース出展により多文化共生社会づくりのための取り組みを紹介しました。

日 時：平成 24 年 12 月 2 日（金）、3（土）、4 日（日） 10：00～17：00

会 場：イオン伊賀上野店、上野ガス「フラム」会場

参加者数：2 万人以上（前年度 2,000 人）

イ 国際交流団体等で構成する国際交流フェスティバル実行委員会に参画するとともに、「国際交流イベント hand in hand」においてブースを出展し、多文化共生社会づくりのための取り組みを紹介しました。

日 時：平成 24 年 12 月 9 日（日）

会 場：みえ県民交流センター

参加者数：約 800 人

【目 標】 連携（共催、協力、後援）数 20 件

【実 績】 連携（共催、協力、後援）数 20 件

②国際理解促進事業

ア もっと世界を知ろう事業

学校における異文化理解プログラム等の実施を支援するため、県の協力を得て、国際交流員を教育機関に派遣しました。

【目 標】 アンケートによる満足度 80%

【実 績】 アンケートによる満足度 83%

派 遣 先：小学校 32 中学校 6 その他 7

派遣回数：延計 45 回（前年度 61 回）

イ MIEF-IATSS フォーラム文化交流会

IATSS フォーラムが招いたアセアン諸国からの研修生と県の国際交流員が、自国の文化・習慣の紹介として、民芸品や観光情報の展示、ダンスや歌を披露しました。

日 時：平成 24 年 10 月 21 日（日） 13：30～16：45

会 場：鈴鹿メディアパーク・ボイスホール

参加者数：約 120 人（前年度 120 人）

【目 標】 アンケートによる満足度 85%以上

【実 績】 同上

2 国際交流の促進に関する事業

(1) 学校間交流の促進

韓国高校生交流事業

韓日双方の学校間交流の窓口として、交流日程の調整、韓国の高校生・教職員の受入及び交流事業等の実施・支援を行ないました。

ア 養正高等学校から昴学園高等学校へ

日 程：7月13日（金）～7月19日（木）

参加者：養正高等学校生徒8人及び教職員 計 10人

昴学園高校生徒及び教職員、地域住民 計約300人

内 容：学生寮での交流、授業・クラブ活動参加、きらら寮歓迎会、地域の人々を講師にそば打ち体験、大台町役場訪問、ホームステイ、財団企画・主催の奈良歴史視察研修ならびに事前学習会及び意見交換

イ 聖南高等学校から津商業高等学校へ

日 程：10月22日（月）～10月28日（日）

参加者：聖南高等学校生徒8人及び教職員 計10人

津商業高校生徒及び教職員、地域住民 計約1,000人

内 容：学校祭参加、伊勢型紙体験、ホームステイ、PTAとの交流、授業参加、財団企画・主催の奈良歴史視察研修ならびに事前学習会

ウ 昴学園高等学校から養正高等学校へは8月21日（火）～8月27日（月）の日程で7人が訪問し、相互交流を実施しました。

エ 津商業高等学校から聖南高等学校へは11月5日（月）～11月10日（土）の日程で10人が訪問し、相互交流を実施しました。

【目 標】 学校間交流参加者の満足度 80%以上

【実 績】 学校間交流参加者の満足度 80%以上

（2）情報提供・情報発信の強化

① 国際交流団体調査

地域の国際化の促進や情報提供に役立てるため、県内で多文化共生推進、国際交流・国際協力活動などを行なう市民団体の活動状況を把握し、財団ホームページで情報を公開しました。24年度末現在のホームページ掲載団体数 123団体

【目 標】 情報更新 年1回

【実 績】 情報更新 年1回

② インターネットによる情報提供・情報発信

ホームページを活用し、多文化共生や国際交流・国際協力に関する事業情報や県・市町等の行政情報、外国人住民が必要とする生活情報、県内の国際交流団体の活動状況などの情報提供を行ないました。また、6月にはホームページのリニューアルを行い、8月には新たにフェイスブック、ツイッターを始めました。

対応言語：日本語、ポルトガル語、英語、中国語、スペイン語、フィリピン語

【目 標】 アクセス件数 31,000件

【実 績】 アクセス件数 23,886件

③ 機関誌（MIEF NEWS）の発行

財団の活動紹介、外国人との共生に役立つ情報及び学校教育支援に関する情報等を発信する機関誌を発行し、国際交流団体・賛助会員・市町並びに県内の園・学校等に配布

しました。

また、県民に対し広く情報提供するために財団のホームページに掲載するとともに、財団の事業参加者からの投稿により、内容の充実を図りました。

【目 標】取材・投稿記事掲載数 9件

【実 績】取材・投稿記事掲載数 9件

発行回数：年3回（6月、10月、2月）

発行部数：日本語3,200部

配布先：賛助会員、国際交流団体、行政機関、幼稚園、学校等1,776か所

④図書資料の整備、その他情報収集提供

国際交流・日本語指導・異文化理解・多文化共生等に関する書籍、雑誌、ビデオテープ、都道府県・市町の情報誌や教育実践記録などを備え、相互理解促進のための情報を提供しました。

また、「小さなブラジル図書館」の運営（閲覧、貸出）を行なうとともに、書籍の充実のため、新たにブラジル関係書籍並びにポルトガル語の雑誌を購入しました。

図書数：約3,300冊（うち、ブラジル図書館 699冊）

【目 標】ブラジル図書貸出冊数 60冊

【実 績】ブラジル図書貸出冊数 56冊

3 国際協力の拡充に関する事業

（1）友好関係国等の事業支援

①パラオ青少年育成事業

パラオ共和国青少年の育成に資する事業として、パラオ中心部から離れた場所に住む子どもたちの送迎や、日本からの交換留学生プログラムに使用している、パラオ教育省（MOE）所有のボートけん引車の部品購入、改修工事費に助成しました。

【目 標】ホームページ等において支援内容を公開

【実 績】ホームページ等において支援内容を公開

②在外県人会連絡活動支援

移住者等で構成する在外県人会（ブラジル・アルゼンチン）の連絡活動に必要な経費などに助成しました。

なお、県民に対する国際貢献や国際協力活動に対する意識醸成のため、これらの支援状況を財団のホームページ等で情報発信しました。

【目 標】ホームページ等において支援内容を公開

【実 績】ホームページ等において支援内容を公開

（2）国際人材の育成

①留学生支援奨学事業【県受託事業】

県の国際化に貢献する人材及び国際的な感覚と視野に富んだ人材を育成するため、県内居住者の子等で海外の大学等へ留学する者及び県内の外国人留学生に対する奨学生の募集、選考・審査及び奨学金請求額審査などを行ないました。

また、本奨学金制度の趣旨の徹底や、奨学生の地域活動・国際交流活動等への参加を促進することを目的に、県内の外国人留学生奨学生を対象に「奨学生の集い」を開催しました。

このほか、平成 25 年度三重県私費海外留学生・外国人留学生・医療看護系外国人学生奨学生募集案内及びポスターを作成し、関係機関等への周知を図りました。

【目 標】奨学生の体験記ホームページ掲載率 100%

【実 績】奨学生の体験記ホームページ掲載率 100%

ア 平成 24 年度応募者数及び合格者

(ア) 私費海外留学生 (12 人のうち 5 人合格)

イギリス 4 人

韓国 1 人

(イ) 学校間協定留学生 (6 人のうち 4 人合格)

アメリカ 1 人

ドイツ 2 人

デンマーク 1 人

(ウ) 私費外国人留学生 (15 人のうち 10 人合格)

中国 7 人

ミャンマー 1 人

ベトナム 1 人

韓国 1 人

(エ) 奨学金請求額審査

私費海外留学生 11 人

学校間協定留学生 6 人

私費外国人留学生 18 人

イ 三重県私費外国人留学生奨学金奨学生の集い

日 時：平成 24 年 10 月 1 日(月) 18:00～19:00

会 場：アスト津ミーティングルーム A、B

参加者：13 人

②海外日本語教師研修サポート事業【県受託事業】

人材育成を通じた国際貢献や友好関係を深めること等を目的に、海外（友好提携国、ODA 諸国）から日本語教師を研修員として受入れ、県内の日本語学校や外国人児童が多い公立小学校での実務研修により、日本語教育技術のレベルアップを図ると共に、県民等との交流を通じて三重県の経済・文化等についての理解を促進しました。

特にブラジルからの研修生には、日本から帰国する児童・生徒へのケアに貢献してもらえるよう、ブラジル人学校での研修を取り入れ、県内のブラジル人児童・生徒を取り

巻く環境への認識を高めてもらいました。

このほか、研修生の来日及び帰国、日本語研修や県内研修視察の計画及び実施、日常生活のケア、研修生の受け入れ先及び受け入れ先との連絡調整などを行ないました。

【目標】 研修生・受入機関の満足度 80.0%

【実績】 研修生・受入機関の満足度 82.6%

〔氏 名〕	〔研修内容〕	〔受入機関〕
○日本語教師		
ジェファーソン クリスト デ サンタナ (ブラジル)	日本語指導 (以下同じ)	JFEテクノス株式会社・三重国際学院日本語学校、鈴鹿市立千代崎中学校、鈴鹿市立白子中学校、津市立高茶屋小学校、津市立千里ヶ丘小学校、津市立敬和小学校
ワジソン ノゲイラ メロ (ブラジル)		
ミゲル フェリシオ フィロ (ブラジル)		
ビラソロ デルフィナ マリア (アルゼンチン)		
デ パス マリア ソール (アルゼンチン)		

③JICA 草の根技術協力事業【多文化共生推進協議会受託事業】

多文化共生推進協議会が独立行政法人国際協力機構（JICA）から委託を受けた、草の根技術協力事業における「サンパウロ州におけるデカセギ帰国者及び児童生徒支援のための心理専門職等による支援組織の構築」事業に係る三重県受入研修生の研修管理業務を行いました。

三重県受入研修生	リリアン・モンタナ
受入期間	平成24年9月4日～平成24年12月4日
研修先	ブラジル人学校、公立小学校、NPO法人、外国人集住市町等
ポルトガル語によるこころの相談件数	42件

<法人事業>

(1) 公益財団法人への移行

平成24年4月1日、特例財団法人の名称変更による公益財団法人設立登記申請を行いました。

(2) 理事会・評議員会の開催

ア 理事会の開催

第1回通常理事会

開催日：平成24年6月8日（金）

会 場：アスト津4階 会議室1

議 案：平成23年度事業報告及び決算について

役員任期満了に伴う改選候補者について

公益財団法人三重県国際交流財団特定費用準備資金取扱規程について

定時評議員会の招集について

報 告：平成24年度第1回職務執行状況の報告について

第2回通常理事会

開催日：平成25年3月6日（水）

会場：三重県教育文化会館第2会議室

議案：平成24年度補正予算について

平成25年度当初予算、事業計画及び資金調達及び設備投資の見込みについて

定時評議員会の招集について

報告：平成24年度第2回職務執行状況の報告について

第1回臨時理事会

開催日：平成24年9月5日（木）

会場：アスト津3階ミーティングルーム

議案：公益財団法人三重県国際交流財団事務決裁規程の一部改正について

公益財団法人三重県国際交流財団公印規程の一部改正について

公益財団法人三重県国際交流財団文書規程の一部改正について

公益財団法人三重県国際交流財団職員旅費規程の一部改正について

三重県と財団の大規模災害時における外国人住民支援に係る協定の締結について

イ 評議員会の開催

第1回定時評議員会

開催日：平成24年6月28日（木）

会場：アスト津4階会議室

議案：平成23年度決算について

評議員の退任及び選任について

任期満了に伴う理事及び監事の選任について

第2回定時評議員会

開催日：平成25年3月22日（金）

会場：三重県教育文化会館第2会議室

議案：平成24年度補正予算について

平成25年度当初予算、事業計画及び資金調達及び設備投資の見込みについて

(3) 市町国際交流協会連絡会議の開催

市町の国際交流協会をメンバーとする連絡会議を開催して情報共有を行いました。

日時：平成24年5月18日（金）10：00～12：00

場所：みえ県民交流センター ミーティングルームA

出席者：11名

津市国際交流協会、四日市国際交流センター、伊勢市国際交流協会
(財) 鈴鹿国際交流協会、玉城町国際交流協会、三重県環境生活部多文化共生課
(公財) 三重県国際交流財団

(4) 賛助会員の募集

財団の趣旨に賛同し、国際化推進事業を支援していただける賛助会員を募集しました。

平成 24 年度賛助会員数

個人会員 (パートナー会員を含む。)

年会費 1 口 1,000 円~3,000 円 126 人 (前年度 130 人)

団体会員

年会費 1 口 12,000 円 34 団体 (前年度 40 団体)

事業報告の付属明細書

平成 24 年度事業報告の内容を補足する重要な事項は特にありません。